



町長日誌

No.273

町長日誌の第 273 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を
町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月16日 (木曜日)

台風から変わった低気圧が中国大陸をかすめ昨夜道内を通過しました。かなりの大雨になる予報でしたが、町内にはさほどの降雨とならず今日は 30 度を超える「真夏日」となりそうです。私たちにとって蒸し暑く不快な天候ですが、一番牧草が刈り取られた牧草地では二番牧草の生育を促してくれます。春に播種した家畜用トウモロコシもグンと背丈が伸びました。庭の雑草も同様に 1 週間もすれば青々としてきます。一方、今年も稲の生育は順調とのことですが、高値が続いていたお米の値段が下がりだしています。国内で一番収穫の早い鹿児島県では農協の買い取り予定価格が昨年より 2 割安いとのことで稲作農家の増産意欲低下が心配されます。農家は「主食米」と言いますが消費者にとっては「一食品」に過ぎず、この食い違いが日本の低い食料自給率の要因かも知れませんね。

7月5日 (日曜日)

朝 9 時から役場前駐車場を会場に紋別管内 5 市町村の消防団が一堂に会した「紋別分会連合消防演習」が開催されました。この演習は毎年各市町村持ち回りで開催されます。約 2 時間半の演習を興部消防団の副団長が仕切り、列をなして行進する「小隊訓練」、消防車から実際に放水して消火する一連の動作を競う「ポンプ車操法」そして、5 消防団がそろって火点に向けて放水する「一斉放水」の三つの演習の精度を競うものです。今回の興部消防団の仕切りはとてきびきびとして素晴らしく、見ている私も町長として自慢のできる演習でした。興部消防団の皆様をはじめ参加された皆様に心から感謝を申し上げます。ご苦勞様でした。

午後 3 時から「興部高校の学校祭」に参加しました。前日、アニュウで行われたダンスパフォーマンスにも大勢の方が応援に来ていただきましたが、昼に行われたバザーも商工青年部など様々な皆様のご協力をいただき大盛会であったようです。私は別の用務があったため不在でしたが、新 1 年生 40 名のご家族も多く来ていただいたようで、本当に良かったと思いました。私は午後 3 時から行われたブラスバンド部の演奏、生徒全員での合唱、そして希望者の芸能発表を見せていただきました。1 年生の出演希望が多く、和太鼓の演奏をはじめとても元気で仲良く一生懸命な 1 年生を 2・3 年生が上手にリードしている様子が見られ、とても嬉しく思いました。生徒の皆さんの頑張りと先生方、公営塾の講師の皆様のご指導、そして PTA 皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

7月16日 (木曜日)

10 時 30 分から「第 54 回全道消防救助者訓練指導会」に出場する職員 3 名の総練習に立ち会いました。この指導会は「ほふく救助」、「ロープブリッジ救出」、「引き上げ救助」など 7 種目の救助方法の技術とスピードを競うもので全国大会もあり、興部消防は過去 2 度出場を経験しています。今回も興部消防はほふく救助に出場します。この種目は、火災現場で煙に巻かれた要救助者 1 名を 2 名の隊員が長さ 10 メートルのトンネルの中を 1 名は酸素マスクと長いロープを着けて救助に、1 名はそのロープを操りトンネルの中を引き出し、助けた要救助者を 2 名で抱えてゴールするという競技です。2 チームが同時にスタートするため焦りも生じますし、それぞれの動作のちょっとしたミスで厳しく減点され、なおかつわずか 40 秒前後のタイムも争います。今回は 10 チームが出場し、興部消防は 2 組目のスタートです。練習の成果はまずまずなので、本番が楽しみです。このように消防職員は空き時間を利用してこのような訓練を重ね、救助技術の向上に努めていることを町民の皆様にご紹介させていただきました。指導会は 7 月 18 日 (土曜日) 札幌市で開催されます。勿論、私も応援に行きます。

間もなく学校は夏休みに入ります。楽しい思い出がたくさんできることを願っています。
水分の補給を忘れずお過ごしください。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。